

# 活用調査表

様式6

技術名 <b>マンホールと管きよの接続部の耐震化技術</b>	登録 No.
	21D1002

<b>施工内容</b>	
施工年度	平成22年
発注機関	新潟県流域下水道事務所
工事名	H21年度西川流域下水道(西川処理区)管路施設耐震化(その1)工事
施工地	新潟市西区高山～燕市吉田法花堂
施工数量	64箇所

**新技術の概要**  
耐震性を有さないマンホールと管きよ接続部を耐震化する工法  
・既設管を供用したまま耐震化が可能であるため、耐震性を有した材料に布設換えを行うより、経済的であり、工程は短縮される。また非開削で施工が可能なることから、周辺地盤への影響は生じない。

**トライアル工事での評価結果**

比較した従来技術	耐震性を有した材料への布設換え。	
項目	評価	評価内容
経済性	◎	従来技術より6割程度経済的になった。
工程	◎	従来技術では3日見込まれるが、この新技術は非開削のため1日で施工が完了した。
品質出来形	□	従来工法に比べ、土工が無いため管理項目が減少する
安全性	□	非開削で行うため、バックホウ等の重機作業が無い。一方で、新技術は管渠内の作業であり、安全対策が必要になった。
施工性	○	管内作業のため専門職による施工が必要になるが、非開削工法の為、施工量が減少し、土留め等の仮設が不要になる。
環境	◎	非開削のため周辺環境に及ぼす影響はない。また、産業廃棄物の発生がなく、重機を使用しないため省エネ、省資源化に貢献。
その他		

◎:優れている    ○:やや優れている  
□:従来技術と比べて同程度  
△:やや劣っている    ×:劣っている

活用上の留意点	酸欠、硫化水素中毒の危険性はもとより、夏季における施工についてはMH内は蒸し暑く熱中症の予防をしっかりとしなければならぬ。
---------	---

<b>新技術問い合わせ先</b>	
会社名	藤村ヒューム管株式会社
所属部課	開発部
担当者	田澤 貴光
TEL	0257-22-3144

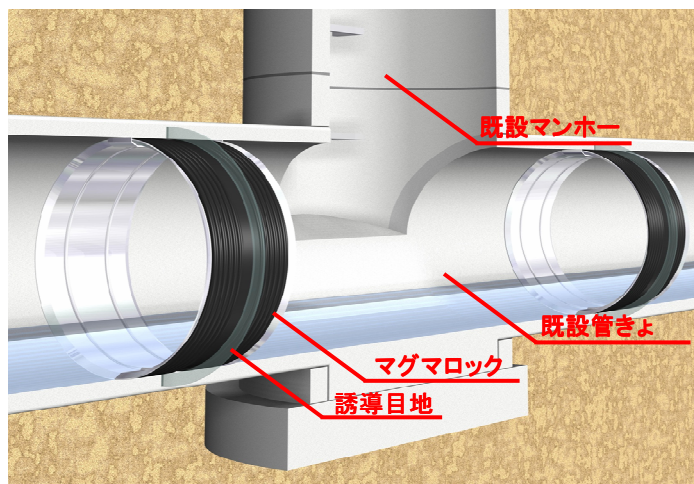


図. 1 マンホールと管きよの接続部耐震化技術イメージ図



写真. 1 誘導目地切削状況



写真. 2 マグマロック設置⇒施工完了